

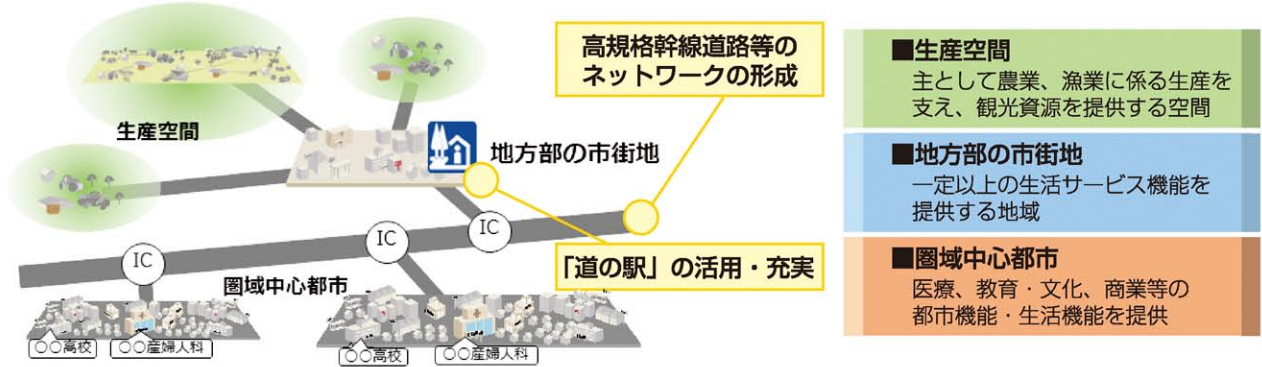
# 第8期北海道総合開発計画の推進<1>

第8期北海道総合開発計画（平成28年3月29日閣議決定）に基づき、「世界の北海道」のキャッチフレーズの下、北海道の強みである「食」と「観光」を担う地方部の「生産空間」を支えるための重層的な機能分担と交通ネットワーク強化、農林水産業の競争力・付加価値の向上、世界水準の観光地の形成等に重点的に取り組みます。

## 「生産空間」に住み続ける環境の維持増進

全国よりも10年先んじて人口減少や高齢化が進展する中、北海道の強みである「食」や「観光」等を担う「生産空間」を維持・発展させる施策を推進します。

### 北海道型地域構造のイメージ：三層からなる「基礎圏域」



### 「生産空間」の人流や物流を支える道路ネットワーク等の形成

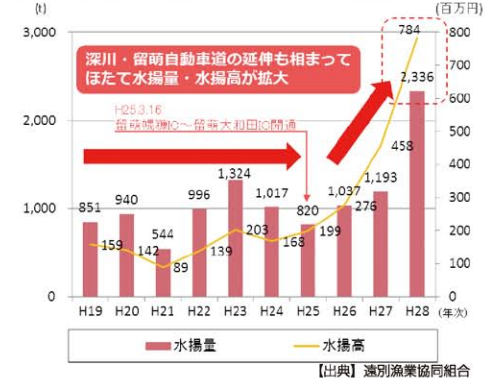
北海道内外の人流や物流の拡大、広域に分散する地域・拠点等の連携を支えるため、高規格幹線道路等のネットワークの形成を推進します。

○深川・留萌自動車道の延伸も相まって、留萌管内のほたて輸出が促進され、広域に分散する地域の漁業を支援。

#### 生産空間から出荷される「ほたて」



#### 遠別漁協「養殖ほたて」の水揚量・水揚高の推移



### 「生産空間」の生活を支える「道の駅」の活用・充実

北海道の地方部に広域に分散している「生産空間」を維持するために、「道の駅」を地域の拠点として活用する取組を推進します。

#### 交通結節点機能の強化

都市間バス、路線バス、コミュニティ交通の結節点として道の駅を活用



交通結節点機能の強化に向け、平成29年度に自動運転サービス実証実験を実施

